

令和7年度鳴門市交通安全対策会議議事録

- 1 開催日時及び場所 令和7年7月8日(火)
午前10時から午前11時まで
鳴門市役所3階庁議室
- 2 委員の現在数 19名(会長含む)
- 3 出席委員氏名 出席委員18名(代理出席含む)
廣瀬 涉 三好健一 東條眞吾 四宮功章
高崎仁志 上田英信 瀧本 浩 谷 重幸
阿部孝弘 小泉憲司 橋本晋作 阿部 聡
笠井明子 池田賢次 小川潤二 東條勝彦
西條尚光 篠塚篤志
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局職員氏名 前田美香 大子正充 森岡美羽 松岡一郎
- 6 議題及び公開の別
 - ・ 議題 令和7年度鳴門市交通安全実施計画(案)
 - ・ 公開の別 公開
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 配付資料
 - ・ 会議次第
 - ・ 配席図
 - ・ 鳴門市交通安全対策会議委員の名簿
 - ・ 鳴門市交通安全対策会議運営要綱
 - ・ 令和7年度鳴門市交通安全実施計画(案)
 - ・ 交通事故発生状況(令和7年7月7日現在)
 - ・ 令和6年鳴門市の交通事故のあらまし
- 9 議 事

定刻になり開会。事務局より「本日の出席者19名(うち代理委員3名)にて、鳴門市交通安全対策会議運営要綱第3条第3項及び第4条の規定による要件を満たしているので本会議は有効に成立している旨」を報告。

会長(市長)の挨拶に引き続き、会長より本会の議事録署名人として上田委員(鳴門警察署長)を指名し、同人は即時承諾した。直ちに議案の審議に入る。

議題 令和7年度鳴門市交通安全実施計画（案）について

令和7年度鳴門市交通安全実施計画（案）について、「道路交通環境の整備」、「交通安全思想の普及徹底」、「安全運転の確保」、「車両の安全性の確保」、「道路交通秩序の維持」、「救助・救急活動の充実」、「損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進」、「踏切道における交通安全の対策」に関する令和7年度の事業について、事務局より説明を行った。

委員からの補足説明として、三好委員より、国土交通省の推進する道路改善補修事業として、撫養町・北灘町の国道11号における路面舗装の進捗状況に関する説明があった。

高崎委員からは、県が推進する高島～中山の道路改善補修事業の説明があった。

上田委員からは、本年における交通事故情勢として、死亡事故数は減少しているものの、交通事故発生件数は増加していることの説明があり、また、県外の方から「徳島県のマナーの悪さ」の声が多く、交通指導取締り等の推進に努めていく旨の説明があった。

その後、谷委員から上田委員に対して、オートバイの爆音走行等による取締りの推進強化要望等の意見がされた。

また阿部聡委員から瀧本委員に対して、自転車運転者の高校生以上のヘルメット着用率が低いことに対する改善方策や、自転車に対する交通取締り方策についての意見があり、瀧本委員が、街頭活動や安全教室等を通じてヘルメットの着用を指導していく旨のことや、来年4月1日から自転車運転者に対する反則金制度が始まること、自転車を取り締まる際は、停止させる場合の安全対策等の答弁がされた。

引き続き、会長が「愛媛県のヘルメット着用率が高い例」を挙げ、自転車道として整備されているしまなみ海道の事例を元に、再来年予定の大鳴門橋自転車道開通に伴い、市、警察等の関係機関が連携してヘルメット着用率の向上に努めていかなければならない旨の説明があった。

その後、会長が各委員に対して、令和7年度鳴門市交通安全実施計画（案）の承認を求めたところ、全会一致をもって承認され、本日審議された交通安全実施計画に基づいて鳴門市の交通安全施策を推進していくこととなった。

報告事項

(1) 改正道路交通法に伴う自転車の交通安全対策について

瀧本委員からの報告

昨年度の人身事故の内、約2割に自転車が絡んでいること、16歳から24歳までの年代と65歳以上の年代の自転車事故率が高いことの説明と、来年4月1日から自転車の交通違反者に対する反則金制度の周知等に対する説明があった。

(2) スマートドライバーセーフティラリーの開催予定等について

事務局からの報告

毎年「徳島スマートドライバーセーフティラリー実行委員会」が開催している前記ラリーの説明と、主旨が「無事故・無違反に挑戦することによって、地域・職場・家庭ぐるみで交通安全意識を盛り上げ、交通事故を防止することを目的」であり、積極的な参加を呼び掛ける報告を行った。

以上で全議事が終了し、会長は本日の議事が終了したことを告げ、審議に謝辞を述べ、事務局より閉会の言葉を述べ散会した。

この議事録が、正確であることを証するため
議事録署名人により署名する。

令和7年7月18日

会 長 泉 理彦
議事録署名人 上田 英信